

平成 21 年度 青少年事業 『中津のこどもネイチャーキャンプ in 香々地』の実行委員として

大分東ネイチャーゲームの会 工藤福成

1. はじめに

中津市の教育委員会は地域の子供たちの交流を基本に

- 自然の中で遊び楽しさを思う存分体験させる事で逞しく生きる力を養う。
 - 異年齢集団に及び大人との交流を持つ事により、お互いのよさを感じあう。
 - ジュニアリーダーの養成（参加児童への活動支援、運営体験）
- を目的に本企画をした。

2. 活動の流れ

平成 21 年度の青少年事業の一環として学校生活で味わえないネイチャーキャンプを実施することを聞き、5月に第1回打ち合わせを中津教育委員会の会議室にて職員と行った。概略の流れの中で役割を決め募集人員を決め、その中で各グループにジュニアリーダーを配置する事にし、事前訓練を教育委員会で行うことにした。

その中で2泊3日のアクティビティを当会で担当する事にし、このスケジュールを持ち寄り再度、詰めをして活動に臨んだ。

3. 活動を取りまく主な関係団体とその役割

主な関係団体	主な役割
教育委員会の実行委員	主催者：チラシの作成・指導員の配置
県少年の家	フィールドの提供・地域文化体験の講師
中津市内の小学校	施設の提供・チラシ配布の協力
中津市内の小学校の児童保護者	チラシの配布と回収
コーディネーター（工藤福成）	実行委員の一員としてネイチャーゲームアクティビティをコーディネーター・主催者との協議

4. 成果と課題

- 活動に市の教育委員会の職員を巻き込み、各諸団体が交流し、ネイチャーゲームの輪を広げる機会が出来た。
- 児童の保護者とは学校関係や公民館活動で繋がりもあり継続的に協力体制が構築されている。
- 県施設職員もネイチャーゲームの理解が進み、キャンプ中もネイチャーゲームの話が盛り上がり、道具の調達に協力的であった。

5. 本報告を参考にされる方へ

○地域には子供達の自然体験の機会を求める声があるのですが、同時に地域の人達は忙しさや提供できるノウハウがないなど『思いはあるが活動できない』と言う状況があり、そうした場に指導だけでなくコーディネーターの役割があると思います。市や県の施設を活用して色々なグループ、団体に働きかける事でニーズが表面化しネイチャーゲームのアクティビティを通じて活躍の場が出来ると思います。現にジュニアリーダー養成の活動に協力することでネイチャーキャンプが実現しました。

今後も継続的にネイチャーキャンプが開催されるよう他団体との交流を展開しようと思っています。

6. 活動写真



「7月27日～29日 大分県・香々地少年自然の家」